

2019 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会参加報告

フィールド科学系部門

山口 哲平

1. はじめに（目的等）

中国・四国地区の国立大学法人等の技術職員の内、技術長等組織マネジメント担当者を対象とした研修。組織をけん引する人材のレベルアップをはかると同時に、クリーンなリーダー像を目指し、ハラスメントの予備知識も身につけることを到達目的とする。

2. 期間・場所

期間：2019年8月29日～8月30日

場所：広島大学

3. 参加者等

中四国の大学及び高専の技術職員 約40名

4. 研修内容

1日目：マネジメント研修

チーム力とは？リーダーとは何か？など、5-6人のグループワークにより、怒る、叱る、ほめるなどを中心にディスカッションを行った。

2日目：ハラスメント研修

福岡ジェンダー研究所横山先生による講義「職場のハラスメント対策」

各校代表者発表（呉高専、広島商船、広島大学）

5. まとめと感想

1日目のグループワークでは、私のグループでは年配の方が多く、各機関で技術長などトップの方が多く、今後の目標など私とは違った考えだったように思う。また、各機関で共通の課題としては技術の伝承と人材の確保であるように感じた。時代により求められるスキルが変わっており、今自分が持っているスキルを後輩に伝えることが必要なのか、また伝える後輩がないという話もあった。大学や高専の技術職員のおかれている立場は大変厳しいものだと感じた。大学全体、地域貢献などの視点も考えつつ業務を行っていききたいと思う。